



秋市立小川小学校

小川っ子だより

第8号

令和元年10月17日

お・・思いやりのある子

か・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

深まる秋・実りの秋

朝晩がめっきり寒くなってきたと共に、山々の木々も色づき始めてきました。また、朝晩は半袖では少し寒くなってはいるものの、昼ごろには暖かくなり、少し動くと汗ばんでも来ます。このような一日の気温の変化は、登校する時には冬服である子ども達も、日中には半袖で活動するように、子ども達の服装によっても見て感じることができます。



“急な高熱の発症と全身の発疹”を症状とする感染症とみられる病気による欠席者が、今週からいなくなりました。今後とも、学校では「手洗い・うがいの励行」と「教室の換気」に努めていきます。それぞれの家庭におかれましても、いつも以上に『バランスのとれた食事での栄養摂取』と『早寝早起きによる十分な休息の確保』に留意され、お子様の体力増強に努め、免疫力を高めることで、病気の予防を心がけていただければと思います。

【地域探訪遠足に行ってきました】

～“塚穴古墳” “子安観音” “不動明王” “木喰上人” “澄川酒造” →地域の学び】

10月11日（金）に秋晴れの中、地域探訪遠足を実施しました（今年の学校行事は晴天に恵まれています）。今年度は、下方面の“塚穴古墳” “子安観音” “不動明王” “木喰上人” “澄川酒造” について学びました。



最初は妙権寺の住職の 須山正文様から、“塚穴古墳” についての説明（およそ1400年前に、先人が丸太の上を転がせたり、修羅の上に載せて引っ張ったりして、小川の小島の河岸段丘に建立等）を聞きました。

次に、野稲均様を講師として“子安観音” についてのお話（江戸時代の第11代将軍徳川家斉の時代に、安産や幼児の成長を守るという目的のために建立等）を聞きました。



今度は、「友信公会堂に行く途中にある、“不動明王” を探す」という活動です。子どもたちは、地域探訪遠足のしおりに載っている写真をヒントに4つの班全て、見つけることができました。24区にお住まいの桂木さんが伝え聞いているところによりますと、「小川地区には幾つかの不動明王は祀られています。ここの不動明王は『耳の病気になった時、治るようお願いを込めて、“火吹き竹” をお供えして拝んだとのこと』という話を事前に子どもたちは聞いていました。

その後、原康慶様を講師として“木喰上人” についてのお話（仏像修行僧木喰上人は“全国で1000体” の木造釈迦如来像を彫るという目標のため、80才で四国→九州→下関→山口→長門→萩→福井→弥富→小川という経路でやって来たことや安井家からのもてなしのお礼として、紙本墨書の年徳の書を書いたこと等）を聞きました。



最後に、「東洋美人」の製造元の澄川酒造場の見学です。40%にまで磨いた酒米・発酵している様子・酒米を洗っている機械・瓶にラベルを貼る機械・絞る機械等を従業員の方の懇切丁寧な分かりやすい説明をしていただきました。フルーティな香りに包まれながらの見学に幸せな一時を過ごすことができました。

計画された見学場所巡りを終え、いよいよ学校めざしての出発。秋晴れの中、子どもも、保護者も、地域の方も、無事に9.2kmを歩き続けることができました。

保護者の皆様には、大変多くの方にご参加いただき、また、安全を見守っていただいたので、子ども達も無事に到着することができました。参加していただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。